

第3章 住まいづくりの基本理念

第3章 住まいづくりの基本理念

1 基本理念・目標像

(1) 基本理念

第6次府中市総合計画を踏まえ、以下を基本理念とします。

みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち



(2) 住まいづくりの目標像

基本理念を踏まえ、本市の住まいづくりの目標像を次のように設定します。

みんなで創る

住宅は、個々の資産であるとともに、市民生活に直結する社会全体の資産として、市民のみならず、事業者・行政の協働の下で住まいづくりに取り組んでいます。

また、住宅、福祉、環境、防災、そしてまちづくりなど、住まいづくりに係る様々な分野の担い手が集まり、さらなる暮らしやすさの向上のために、協力し合いながら住まいづくりに取り組み、住みやすい地域を自らつくる、いわば「住む力」をんでいます。

そして、住宅地開発などを機会に、様々な市民活動が地域ぐるみで取り組まれるなど、住まいづくりだけでなくコミュニティもはぐくまれていきます。

笑顔あふれる

お年寄りや障害者をはじめ、本市に住まう様々な世代・世帯それぞれが、住まいづくりの担い手のサポートの下、自ら住まいを確保し、自立的に暮らすことのできる、「住む力」を身に付けています。

市民は「住む力」の下、多様な住まいの選択肢の中から、安定的に住まいを確保でき、また、基礎的な生活サービスを受けることができます。

また、市民一人ひとりのつながりやふれあいを大切にするコミュニティがあり、子どもやお年寄りなど見守りが必要な人たちを地域でさりげなく支えるなど、誰もが安心して暮らし、笑顔があふれています。

住みよいまち

住宅は、個人の資産であるとともに、地域に残り、誇れるまち全体の資産として、長く大事に使われています。

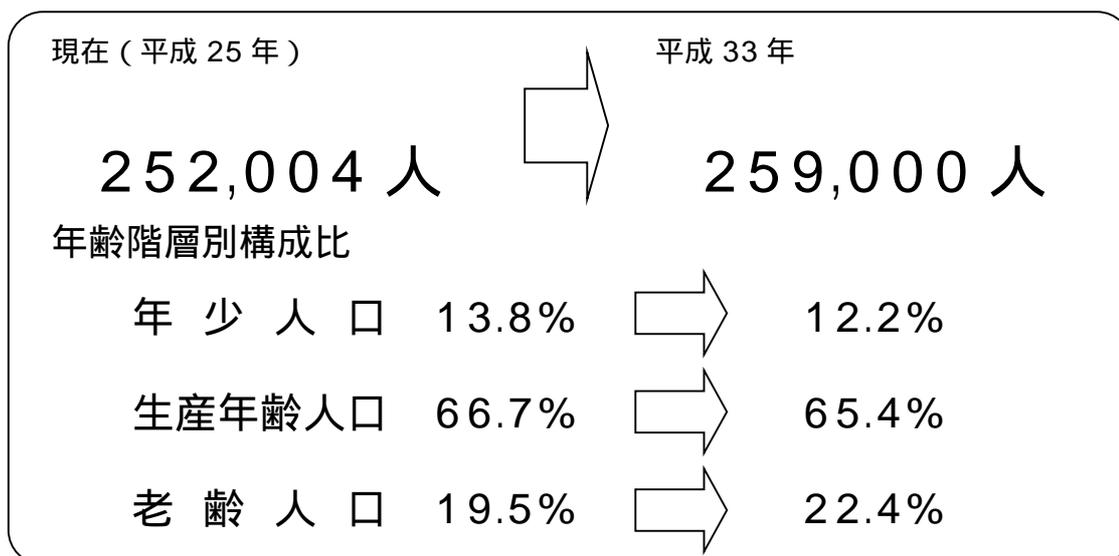
そして、残していくものだからこそ、災害に強く、また環境にもやさしい、安全で安心して住み続けられる住まいづくりが盛んです。

このような住まいづくりは、個々の住宅ではなく、府中の豊かな水・みどりを大切にし、活かした地域まちづくりとして取り組まれ、「住みよいまち」として、府中に住むことの魅力・価値が生み出されていきます。

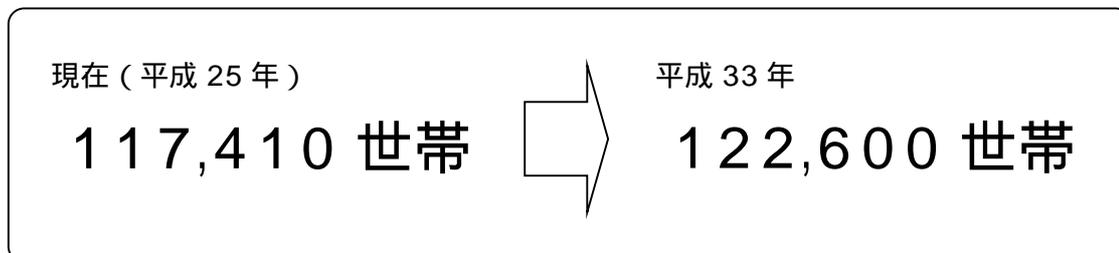
2 計画の基本的なフレーム

本計画の前提となる、人口や世帯・住宅数は次のとおりです。

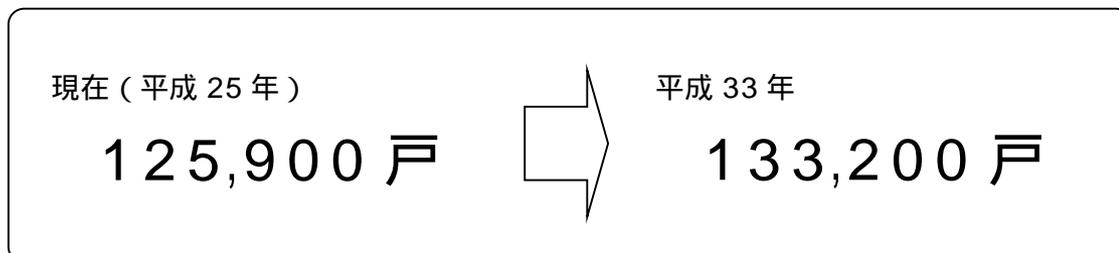
人口



世帯



住宅数



人口 平成 25 年実績値：住民基本台帳 4 月 1 日
平成 33 年推計値：第 6 次府中市総合計画
世帯数 平成 25 年実績値：住民基本台帳 4 月 1 日
平成 33 年推計値：1 世帯当たり人員数（住民基本台帳）を推計し、第 6 次府中市総合計画策定に係る推計人口資料による人口推計値を除算して求めた。
住宅数 平成 25 年、平成 33 年ともに推計値。住宅・土地統計調査（最終調査年平成 20 年）における住宅数を基に、1 世帯当たり住宅数の推計を行った。当該結果と、平成 25 年の世帯数実績及び平成 33 年世帯数推計値を乗算し求めた。

